

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス なでしこ
------	-----------------

公表日 年 月 日

利用児童数

回収数

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13				運動できるスペースも室外、室内にあり、十分確保されていると思います。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	4	1			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	3		2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	2			中庭の草により蚊が多くなっているのではないかと少し心配です。	定期的に草刈りを行い、虫の発生に気を付けています。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12		1			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	1				
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13				聞き取りが細かく丁寧で、的確で分かりやすい計画が作成されていると思います。	
	8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	13					
	9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	13				集団での活動中でも個人の課題にも注意し支援してくださっています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	1	4	他事業所との交流があり、本人がとても嬉しそうに活動できています。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	2		1		
	13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2				
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	1			送迎時や連絡ノート、携帯電話のメッセージなどで、それぞれの活動の様子を伝え合っています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	1	4		

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	2				
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	2		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	2		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	2		2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13				無理なく本人のベースでの活動、受け入れてもらえる人々との楽しい時間に安心している様子です。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	1			・楽しいプログラムやお友だちとの交流を楽しみにしています。 ・喜んで通っているので感謝しています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1			本人保護者共に丁寧な支援をして頂いております。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス なでしこ				公表日	年 月 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・パーテーションなどを利用して空間を区切り、学習支援や療育活動を行えるようにしている。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	・基準配置は満たしているので、職員のスキルを上げることで解決できるようにしていく。	・マンツーマン対応の児童が多い日は外出などで難しいと思う場面がある。 ・適切な配置数が分からず。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・トイレ内に手すりを設けるなどバリアフリーに特化している。 ・療育室に外から入るには階段があり、その点においては改善が必要と思える。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・室内は毎日清掃・消毒を行い清潔な空間にしている。 ・園庭や駐車場の清掃は用務員を雇用し施設内外の整備を行っている。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・必要に応じ、個別での対応が出来るようになっている。		
業務 改 善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	3	・月一回の職員会議を利用して、目標設定や振り返りを行うようにしていく。 ・送迎後に情報の共有に努めている。	・目標設定がなく振り返りも出来ていない。 ・組織の問題 ・夏休みの振り返りがないまま過ぎている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・毎年アンケートを実施し、会議や日々の業務後に情報を共有するようにしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	・職員会議等で発言の機会があり、日常の中でも職員間で話しをするようにはしている。	・把握するための面談など受けたことがない。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	外部評価は受けていない。	・現在は実施はないが、今後取り入れていくことも考えていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・毎月のジョブメドレーカセミナーで研修は受けしており、それ以外でも研修を受講をしている。 ・毎月研修を受講して、レポートの提出。	・もう少し具体性のある研修も必要。 ・形式的な研修も必要。	
適 切 な 支 援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・ホームページに公表済み。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	5		・学校の先生や保護者等の意見も参考にして、課題を客観的に分析し作成している。 ・本人の良いところを中心に個別支援会議を経て作成している。		
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・月に一度の会議で、職員全員が共有理解し、子ども達の最善の利益を考慮し、検討されている。 ・事前会議や個別支援会議で全職員で検討している。		
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	2	・月一度の職員会議に全職員が参加し、共有され計画に沿った支援がされている。 ・全職員に周知している。	・紙面で共有されているが説明の時間もあるが理解できないまま終わることがある。 ・共有は行っているが、理解は不十分	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・フォーマルではないが、課題の整理を行っている。	・今後、フォーマルなツールを使ったアセスメントも視野に入れて考えていく。	
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・本人の意向や保護者のニーズを踏まえて、将来必要なスキルの獲得を目指して支援内容を設定している。 ・文字の大きさはフォントは適宜変更するなどして見やすい支援計画を心がける。	支援計画書の文字が小さくなるので、保護者が見えにくいのでは。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・日々の打ち合わせで確認を行っている。	外出先など個々に考えて案を出し合っている。	

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・毎月違う内容を立案している。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	5		・子どもが力を発揮できるように環境設定している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・日々の昼札（朝礼）で具体的に役割分担等の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・ケース記録で具体的かつ時系列が分かるように記録している。 ・送迎後など時間を見つけては振り返りや情報の共有に努めている。	・送迎後に共有するよう努めている。 ・送迎や記録の打ち込みで時間を要してしまい支援の振り返りがなかなか出来ない。 ・ほとんど出来ていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	・ケース記録で具体的かつ時系列が分かるように記録している。	・記録はしているが、検証・改善している職員は少ない。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・半年に一回必ず行っている。	
	24	<u>【放デイのみ】</u> 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		・日常生活に結びつく支援、様々な余暇体験、地域活動への参加、子ども同士でのルール作りなどを取り入れている。	
	25	<u>【放デイのみ】</u> こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・おやつの種類決め、活動でのルールやメンバー決めなど様々な場面で自己選択を大切にしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	・児発管が担当し情報を共有している。	・不明 ・法人内で利用児童の支援等意見交換の場があると深い学びに繋がると思います。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			・善防子ども園のみと連携していると感じます。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	2	・必要に応じて助言を受ける関係作りを行っている。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		・法人内の子ども園や放デイと交流している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・毎月状況報告書を作成し報告している。 ・送迎時を利用して保護者と情報共有する機会を作っている。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	・法人内で保護者研修会を実施している。	・保護者支援まで行える職員がいない。
	32	<u>【児発事業所・児発センターのみ】</u> 併行利用や移行に向けた支援を行ななど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	<u>【児発事業所・児発センターのみ】</u> 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	<u>【児発センターのみ】</u> 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	<u>【児発センターのみ】</u> 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	<u>【児発センターのみ】</u> (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37	<u>【放デイのみ】</u> 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・ラクメの利用や日々の送迎時に情報共有を行っている。	

	38 【放ディのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		・相談支援事業所を通して情報を共有している。	
	39 【放ディのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			・今は卒業生がいないが今後必要となってくるが提供出来るようにしている。 ・準備は可能
	40 【放ディのみ】（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		・積極的に参加している。	
保護者への説明等	41 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時に必ず行っている。問い合わせには適宜対応している。	
	42 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際に、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・半年に一度モニタリングを実施している。	
	43 「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		・同意が得られない場合は、同意を得られる内容に修正。	
	44 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・日々対応している。	
	45 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		・法人内で保護者研修会を実施。	
	46 こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・担当者が必要に応じて対応。	
	47 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	2	・毎月状況報告書を作成。ラインを通して様子を伝えることもある。	・SNSを利用した方がいいとは思うが、継続して出来る職員がいるか。 ・予定表のみで不十分と思える。
	48 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	1	・鍵付きの書庫で厳重に保管するようにしていく。書類の破棄も慎重に行っている。 ・守秘義務の順守。	・不十分（シュレッダーの徹底） ・誰でも見れる環境に大事な書類がある。
	49 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・絵カードや筆談の利用。ホワイトボードや理解しやすい言葉を用いて説明支援。	
	50 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	・毎年福祉フェスタでの作品制作に参加している。	・なでしこではない。
	51 【放ディのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・電話やライン、連絡帳など保護者の方が利用しやすいツールで行っている。	
非常時等の対応	52 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	・策定実施している。	・保護者への周知が不十分
	53 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・実施している。	
	54 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・アレルギーや喘息の事は事前に保護者から報告を受け、職員間で共有している。	
	55 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・保護者からの情報をもとに対応している。	
	56 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・策定実施している。	
	57 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・契約時に説明している。	

	58 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・報告書を作成し、再発防止に努めている。	
	59 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・研修を実施している。	
	60 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		・記載はないが、事前に同意を得ている。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 無量会 なでしこ			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 25日 ~ 2025年 11月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年 10月 25日 ~ 2025年 11月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・遊戯室や近くに公園があり、体を使った遊びや運動など天候に左右されずに行うことが出来る。	・バトンを渡す練習やリレーなど学校で行う運動を少人数とする事で、見通しを持って活動に参加出来るようにしている。	・集団で活動を行っているが、個々のニーズに合わせた支援を行うように気を付けていく。
2	・学校休業日や長期休暇の余暇支援の充実。	・多くの経験や体験が積めるように外出先や工場見学など内容が重ならないように気を付けている。	・子どもたちが興味を持てるもの、楽しめるを取り入れることが出来るようにしていく。 ・マンネリにならないようにしていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の専門性の向上	・様々な障害特性の理解が追い付いていない	・今年度より、オンラインでの研修が始まった事で、研修体制が整ってきている。研修後は実践におけるスキルの向上が求められる。
2	・保護者に対する支援や情報提供	・月に一度、状況報告書を作成し送付している。児童の様子をお知らせする事は出来ているが、保護者が本当に知りたい情報を提供出来ているか不明である。	・保護者研修会等を実施し、保護者のニーズに応えることが出来るようにしていく。
3			